

開業15周年記念  
マークを一新

ゆのこう美春閣

温泉旅館「ゆのこう美春閣」(美作市中山)を運営するホテルリゾート下電(同所)は開業15周年を記念し、シンボルマークを一新した。館内商品やパンフレットなどで使う。

トマト銀行(岡山市



ゆのこう美春閣の新しいシンボルマーク

北区番町)の働き掛けで、岡山県立大(総社市窪木)と連携して作った。手まりをイメージした円の中心に旅館名や地名の美作などから取った「美」の文字をデザインし、紫とピンクの配色で日本らしさとおもてなしの心を表現したという。

ゆのこう美春閣は2002年3月にオープン。客室数84、露天風呂や大小宴会場11室などがある。同社は「新しいホテルのイメージを構築し、利用者にとらに親しみを持ってもらえるマークになれば」としている。

(小野寺万由子)